

平成23年議会 第1回 定例会

【町長】

通告順	質問議員	質問項目	質問の内容
1	横山議員	住んで良かった町づくりについて	4,000人復活の町づくりに対する町政運営に全力を傾注してきたと言うが？
2	中村議員	4,000人復活プロジェクトについて	<p>22年度から始めた4,000人復活プロジェクトは掛け声倒れの観があります。</p> <p>具体的なアクションプランはどうするのか。</p> <p>昨年10月に職員研修の一環として、各課でのアイデアの取りまとめをしたそうだが、どのような案があったか。</p> <p>町の職員レベルの発案だけでなく、町議を含めた町民にアイデアを募るべきだとおもうがどうか。</p> <p>広く町外・道外にも沼田町の公式HPでアイデアを募り、採用出来そうな案には沼田に招聘して、政策コンテストの形のレクチャータイムを設けてはどうか。</p>
3	絵内議員	農産加工場について	<p>町長の各会計予算の提案説明の中に、加工場の主力製品であるトマトジュースの製造と販売効率の向上とありますが、平成23年度の予算を見させて頂きましたが、製造を改善する所は見られません。</p> <p>この状態では平成22年度と全く同じに進むと思います。新鮮な内に処理が出来るようにすべきと思いますが、見解を伺います。</p>
4	上野議員	沼田町の人口減少について	<p>沼田町第5次総合計画（案）には、2020年の人口推計が3,041人になっているのに、人口4,000人復活を目指す町長は考えているのだが、何か具体的な考えがあるか伺いたい。</p> <p>私が思うには、今すんでいる町民が一人でも長く住み続けてもらえるように対策をとるべきと思う。</p> <p>例えば、働きたい人のために、行政の窓口に雇用情報の掲示板を作り、働きたい人、雇用したい人それぞれの条件を書き込み、一人でも沼田町の雇用が分かるようにすべきと思う。</p> <p>さらに、空き家情報も分かる場所が役場内に掲示すべきと思うが、町長の考えを伺いたい。</p>
5	津川議員	今後の協働のまちづくりについて	我が町再生、協働のまちづくりを掲げて行政に取り組んでこられました但取りあえずこの3月をもって一区切りをつけます。

			<p>町民の皆さんにご理解をいただきながら勧めてきた協働のまちづくりは一定の成果を収めたようにみられますが、しかし終わってみると住民にとっては町からの色々な交付金、助成金のカットや利用料の値上げなどサービスの低下となっている事は否めません、特に昨年から変更になったゴミの収集方法は我々が考えていた以上に高齢者に負担がかかっているように思います。</p> <p>これまでの協働のまちづくりについて町長自身どのように検証されているのか、どれくらい成果があったと考えておられるのか。今後、どのように取り組んでいくつもりなのか考えを伺いたい。</p>
6	大沼議員	防災無線の活用について	<p>昼夜のニュースの時間に防災無線が被らない様に放送することが出来ないのか？</p> <p>訃報の案内を流すとしたらどのように考えるのか？おたずねしたい。</p>
7	大沼議員	資源ごみ等の収集について	<p>資源ごみ等の収集をセンター方式に変更し開始してから「持ち込が大変だ」「分別と始末が面倒」という町民の不満の声と「センターでのトラブル」を耳にすることが多くなっている。</p> <p>これらの事について町は把握をしていると思うが、どのように考えているのか？</p> <p>今後の対処も含めおたずねしたい。</p>
8	渡邊議員	人口の減少問題について	<p>町長は、骨格予算とは言え、人口4,000人復活を意識した23年度予算と提案説明をしているが、現状の問題として復活より、いかに減少をくい止めるかが、早急の課題ではないだろうか。</p> <p>残念ながら、22年度までの政策では、人口減少の歯止めには十分ではなかったと言わざるを得ませんし、同じ政策では復活にはなりません。提案説明のなかの「従来型の考えに捉われず、新たな視点に立ちながら、地域の特性を生かした個性溢れる取組み」とはどのようなことか。又、「積極的かつ大胆に展開」とはどのように取り組むつもりなのか伺います。</p>
9	橋場議員	TPP（環太平洋連携協定）について	<p>TPPは管内閣の言う「開国」の中身は、日本の国を米国にそっくり開け渡す売国だと指摘して真向から反対をしているのは政党の中では日本共産党です。</p> <p>前原外相が「日本のGDP（国内総生産）における第1次産業の割合は1.5%にすぎない。1.5%を守るために98.5%が犠牲になっている」とのべました。農業と食料に対するまともな認識の欠如もはなは</p>

			<p>だしい。</p> <p>北海道は経済界から医師会などなどまで反対の立場なので「道新」はまあまあだがマスコミの本通はTPPを農業問題だと矮小化して報道しているため本質がかくされています。</p> <p>これらの状況をどう思うか。</p> <p>食の安全にかかわ規制の緩和や撤廃を要求しています。牛海綿状脳症（BSE）の規制、収穫後の農薬処理（ポストハーベスト）、有機農産物の殺虫剤、除草剤の残苗などすべてにかかわりやられます。</p> <p>日本経団連、米倉弘昌会長は昨年11月「(TPP参加を機に)日本に忠誠を誓う外国からの移住者をどんどん奨励すべきだ」とのべたとのこと。</p> <p>いたるところでTPP反対の話をするべきと思うがどうか。</p>
10	橋場議員	ゴミ回収問題について	<p>今福祉切りすでの政治が民主党政権に変わっても自民・公明政権と同じように進められています。</p> <p>福祉政策は憲法25条に基づいて弱立場にある人が人間らしく堂々と生きて行けるためにあるものです。福祉の切りすでのしわよせは弱い立場の人に強く影響します。</p> <p>管内閣は23年度予算の中で大企業・大富裕層の税金を2兆円近く減税し、一方で福祉のためとごまかし消費税増税のための大宣伝をしています。私は私は反対をしなければならぬと思っております。</p> <p>町では燃えるゴミ以外のゴミの収集の方法を変えました。そしてそれはいちばん弱い立場の人につらい思いをさせる方法です。</p> <p>①搬入できない人に対月1回福祉関係の職員の訪問を複合させたゴミ回収を行ってはどうか。</p> <p>②住民参加の町づくりは理念がまちがうと国の悪政や、やるべき事をやらない自治体の冤罪になりかねないと思うがどうか。</p> <p>③共働きの人のため日曜日は午後も施設の営業されたいがどうか。</p>

【教育長】

通告 順	質問 議員	質問項目	質問の内容
1	高田 議員	奨学資金貸付基 金条例の運用実 態について	<p>人口4000人復活を目指す本町にとって、子育て支援の施策を充実させる事は「住みやすい町」となるために重要なことである。</p> <p>子育て支援策の総仕上げとも言える「奨学資金貸付制度」をもっと充実させ使いやすいものとして、父母の負担を軽減しつつ就学支援をすべきである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第1条の設置目的に「学業優秀で経済的理由により就学困難な者」とある。条例設置当時における主旨は理解するが、時代にそぐわない文言ではないか。</li> <li>2. 現状における奨学資金の利用状況はどうなっているか。また、返済は計画通りに行われているのか。</li> <li>3. 奨学生の募集を告示する際、どのような方法で行っているのか。告知の方法は十分と考えているのか。</li> <li>4. 連帯保証人1名と保証人2名をつけることになっており、保証人の条件が付いているが現状に即しているのか。</li> </ol> <p>奨学資金を受けようとする者の家庭における、所得制限等はあるのか。どのように可否の判断をしているのか。</p>
2	橋場 議員	就学援助につい て	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 就学援助制度についての周知はどのように行っているか。</li> <li>② 2010年度から新たにクラブ活動費、生徒会費、PTA会費の3項目が対象になったが支給しているか。</li> <li>③ H16年度までは費用の半額が国から補助されていたが17年度からは交付税に算入されてしまった。そのため自治体財政が逼迫すると就学援助そのものにしわよせがきます。</li> </ol> <p>本来国の基準に基づいて教育の機会均等が守られるよう国が財源を保障すべきものだと思います。</p> <p>「地域のことは地域の判断と責任で」とした小泉改革と同じことを民主党は「地域主権改革」の名で進めています。</p> <p>教育委員会としても「義務教育は無償」である事を名実ともに守るよう道や国に対して強く要請すべきではないか。</p>